

想い出のわが母校

相原小学校



吉川庄衛

終戦の翌年（昭和21年）春に、父が戦地で使っていたカバンを持たされ当時の相原国民学校に入学した。翌昭和22年に校名は、堺村立相原小学校になった。

入学の時持って行ったカバンの中は、鉛筆一本と消しゴム、それに祖父の作った上履き用の藁草履一足である。教科書は、先生がガリ版刷した今にも破れそうでチリ紙のような、しかも黒ずんだ紙を用いていた。更に良く見ると所々に新聞紙の文字があり、正しく再生紙である。また、ある時クレヨンが配給になった。赤青黄等七色の他は、茶色のみで各色毎に山の様に先生の机の上に積み上げられていた。しかし七色の山は小さく、茶色の山が一番大きかった。

「地域の情熱 さつまいも図書館」

配布は、出席簿順（アイウエオ）で各色一本ずつ取り揃えて配布が

ら子ども本人はもちろん、親たちも大騒ぎになるだろうが、当時は一本でも貰えればよい方であったので、不平や不満は出なかった。2年生になった昭和22年頃からは、給食が始まった。給食といつてもキャベツの味噌汁をアルミのお椀一杯だけで、それにかつおぶし等を入れ、味は最高。今でもクレ

校舎が完成したものの、一校派・二校派で村を二分し村議会も総辞職、大戸地区の一部は川尻村（現城山町）の中学に通学する等学校を中心に村は大騒ぎとなった。そんな中、当時村の人達は、きずが付いた等のさつまいもを俵に入れて学校へ持ち込み、学校は、澱粉工場へ加工用として売却した。当

ヨンのこと、キャベツの味噌汁のことは、忘れることの出来ない思い出である。昭和24年頃、加賀美良英校長（第十四代）が着任してから相原の教育は大きく変わり、地域との連携プレーを重視した一大改革が行われた。折りしも堺中学校独立

然農家は無償寄付で、その売上金で本を購入し、いわゆる「さつまいも図書館」が完成した。これは、当時の加賀美校長と塩沢PTA会長の提唱によるものであった。更に教師と父母の意志の疎通をはかるつと広報紙「すこやか」がガリ版刷りで発行され、5・6年生の頃は授業終了後に印刷の

手伝いをした。現在もこの題名でPTA機関紙が発行されている。先人達の相原の地に注いだ教育への情熱が、多大の功績を残してくれた。相原小学校は本年130周年を迎え、よき伝統を継承し、更なる学校と地域の発展を願うものである。

平成15年9月から16年2月までの間に定例会6回臨時会3回が開催され、27件の議案を審議し、1件の議案を協議し、38件の報告を受けました。その主なものをお知らせします。

【議案】
町田市立学校（七国山小）設置

条例の一部を改正する条例（案）について承認しました。
市立学校施設及び生涯学習部各施設使用料改正について承認しました。

2004年度町田市教育委員会教育目標について承認しました。
町田市公立学校管理運営に関する進捗状況について

教育委員会の動き

9月～2月

規則の一部を改正する規則に關して承認しました。「夏休み授業・二期制・開校記念日授業」
【協議】
町田市立中学校給食制度（実施計画・諮問）について

町田の野鳥

見守って、日本固有種のセグロセキレイ

フランスからのお客さんに、どんな鳥が見たいか尋ねたことがある。かなり通な方で、情報収集もしてあったのだらう。「河原のセグロセキレイ」という注文。思わず「セグロ！」と聞き返してしまいました。確かにセグロセキレイは日本固有種で、日本でしか見られません。しかし、普通に見られる鳥ですから、彼女のようにセグロを2時間も、分厚い図鑑と見比べながら、望遠鏡で観察するのは、日本人ならたぶん相当の研究者でしょう。探鳥会でもセグロに2時間かけた記憶はありません。参加者が飽きて、次にいこうと催促するでしょうから……

セグロセキレイの体色は単純な白と黒の2色で、街なかでも見かけるハクセキレイとよく似ています。それで、初心者向け探鳥会の識別練習にこの二種はなかなか便利です。「肩が白く、顔が黒いセグロ、顔が白いのがハクです」と

最後に「セグロセキレイは日本固有種で日本にしかいません。河川がコンクリートだらけになると、数が減ってしまうでしょう。どうか、そんなことにならないよう見守ってやってください」と強調してセグロの識別を終えました。

（町田野鳥の会 太田信行）

学校適正規模適正配置事業に伴う統廃合3校目の新校舎完成

町田市教育委員会では、子どもたちのより良い教育環境の整備、学校教育の充実を図るため、「学校適正規模適正配置事業実施計画（1999年3月策定）」に基づき、小規模化が著しい市立小学校の統合を、2001年度以降進めてきました。2002年4月木曽境川小学校、2003年4月本町田小学校、本年4月の「七国山小学校」の校舎完成により、各統合校の整備が終了します。

「七国山小学校」が本校舎に移転

昨年4月、旧忠生第五小学校・旧忠生第六小学校・旧忠生第七小学校3校の統合新設校「七国山小学校」が誕生しました。この間、「七国山小学校」は、



全面改修工事を終えた七国山小学校

仮校舎として旧忠生第六小学校を使用してきましたが、このほど本校舎となる旧忠生第七小学校での耐震工事を含む全面改修工事と学童保育クラブの新築工事が完了し、本年4月に移転します。七国山小学校統合整備工事は、旧忠生第五小・旧忠生第六小・旧忠生第七小学校3校統合準備会が

まとめた学校像を基に、新設校としての改修工事が進められました。校舎は、校舎棟・給食棟・体育館棟・学童保育クラブ棟で構成されています。主な特徴は、各フロアの廊下と一体化したオープンスペース、化学物質過敏症に配慮した材料の使用、バリアフリー

旧忠生第四小学校跡校舎（新館部分）を活用し、（仮）町田市教育センターとして整備するため、本年1月から本年5月末の予定で、工事が進められています。

（仮称）町田市教育センター 整備工事始まる

この工事が完了すると、ア教員の研修・研究事業、イ各種相談事業、ウ「適応指導教室（けやき教室）」がここに入り、（仮）町田市教育センターとして、業務を開始します。

これまで個別に対応してきた各業務の一元化やその充実強化が図られる予定です。なお、町田市役所森野分庁舎4階にある現在の町田市教育相談所と隣に開設されている「適応指導教室（けやき教室）」は、この工事終了後の6月に、移転する予定です。

対策（廊下の手すり・段差解消等）学童保育クラブの新築、トイレ洗浄水の雨水利用（一部トイレ）など環境面にも配慮したものに なっています。

「七国山小学校」の新所在地 住所 〒195・0074 町田市山崎町1314番地2 ☎791・2171



写真上はセグロセキレイ・円内はハクセキレイ